

情報社会学会 情報社会研究部会 平成 18 年度活動計画(案)

1. 全般的研究方針

本年度の情報社会研究部会の活動は引き続き、情報社会のマクロの発展過程と、各種のネットワークに生ずる自己創発パタンの調査研究に焦点をあてる予定です。情報社会のマクロの発展過程は広義の近代化論(=文明論)ということになりますが、これは、(1)社会哲学で言うポストモダン論、(2)国際政治学の nation building や transformation と関連した安全保障研究、(3)PPP など開発援助の新しいスキームや国際制度論、といった研究領域に関連しているほか、(4)Web2.0 や ICANN などインターネットの hot issues を電気通信事業者のビジネスや情報通信政策にどのように位置付けるのかといった動向調査も重要なテーマになると考えられます。これに対して自己創発パターン研究は「ミクロ情報社会学」ということになりますが、社会現象のべき乗則(power law)の検討と、ケース例に則した自己パターン形成のモデル化を通じて一般システム論的な統合を指向したいと考えています。

2. 研究会

定例研究会としては、引き続き(1)情報社会学研究所所内研究会と(2)創発パターン研究会(平成 18 年度)を運営しています。

3. ワークショップ

昨年と同様、年度内に部会主催のワークショップを予定しています。

4. 講演会・セミナー

C&C 振興財団寄附講座「情報社会学」(平成 18 年度前期)を多摩大学大学院品川キャンパスで開講中です。(学会員に公開)

5. その他の活動

各部会と協力して講座『情報社会学』の編集作業を進める予定です。

連絡先: 多摩大学情報社会学研究所 / 〒153-0064 東京都目黒区下目黒 4-10-26 大学院
目黒ビル 7 階 / 電話: 03-3712-3758(担当: 山田)

Web: <http://www.NI.tama.ac.jp/>

以上